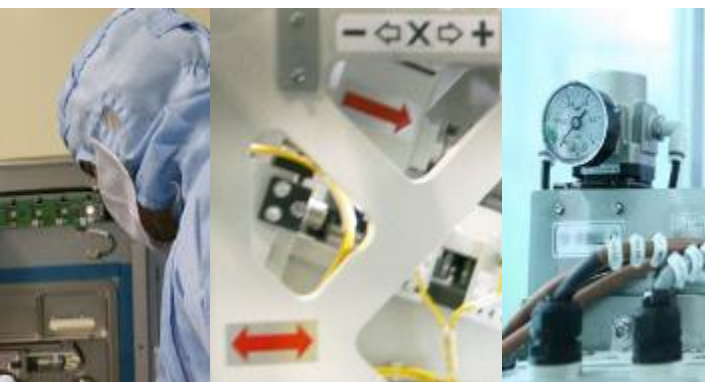


2014年3月期 第3四半期決算説明資料

平田機工株式会社 2014.2.12



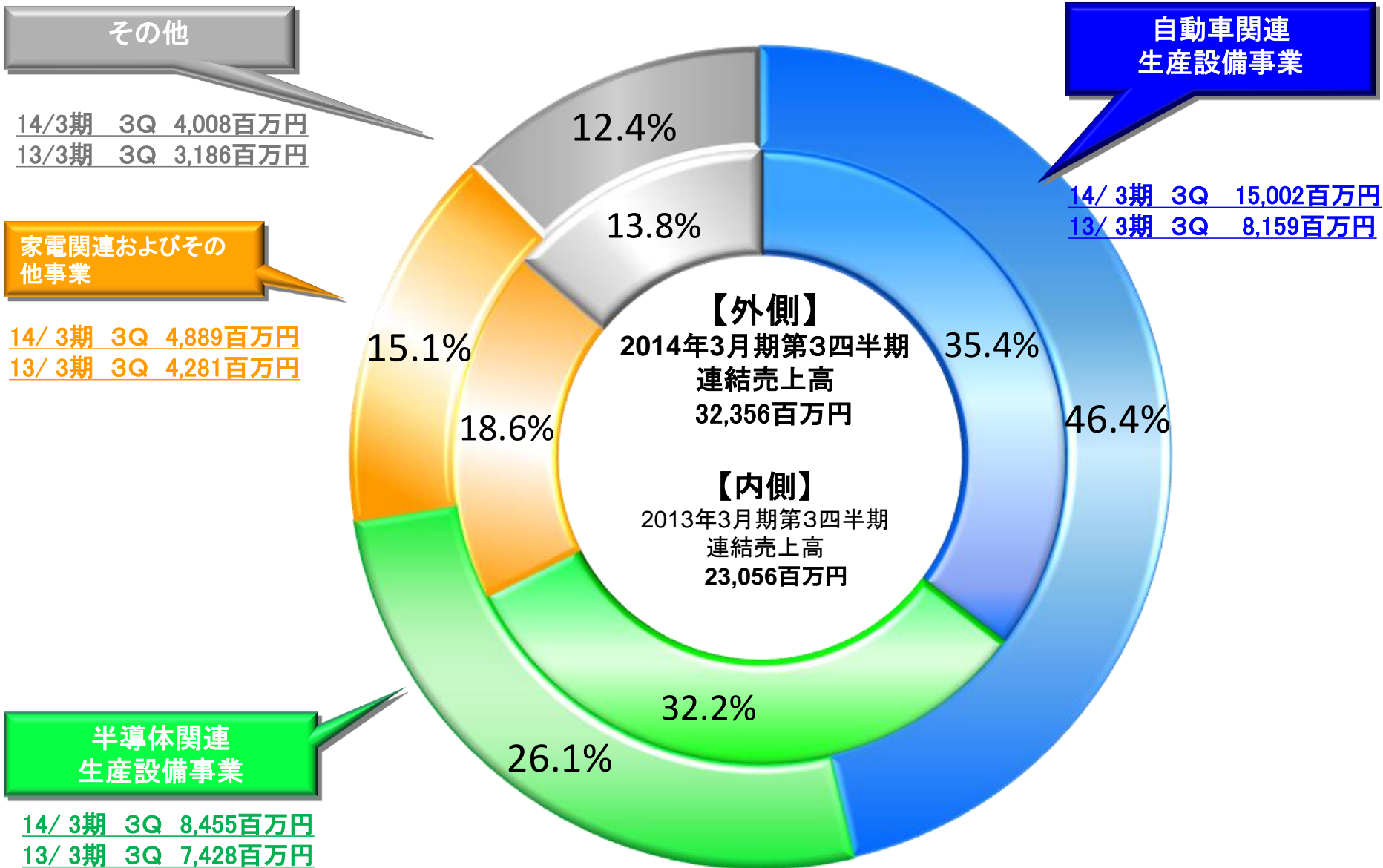
The Global Production Engineering Company
Hirata



I 決算状況

2014年3月期第3四半期（2013年12月31日）

I 決算状況 事業部門別売上高構成比

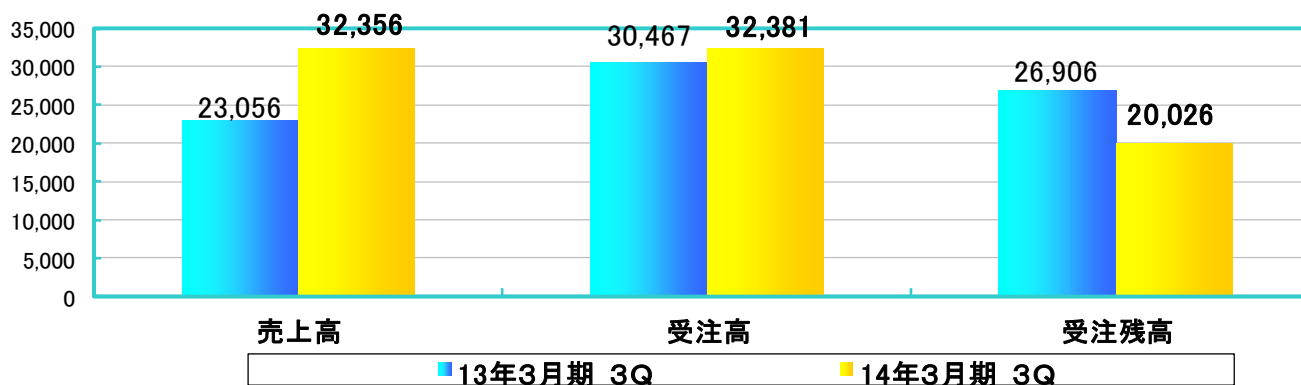


決算概要

- 売上高は、自動車関連他、全事業部門で前年同期比増。
- 売上増に加え、売上原価率の減少等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに黒字転換。
- 受注高は増加しているが、受注残高は減少。

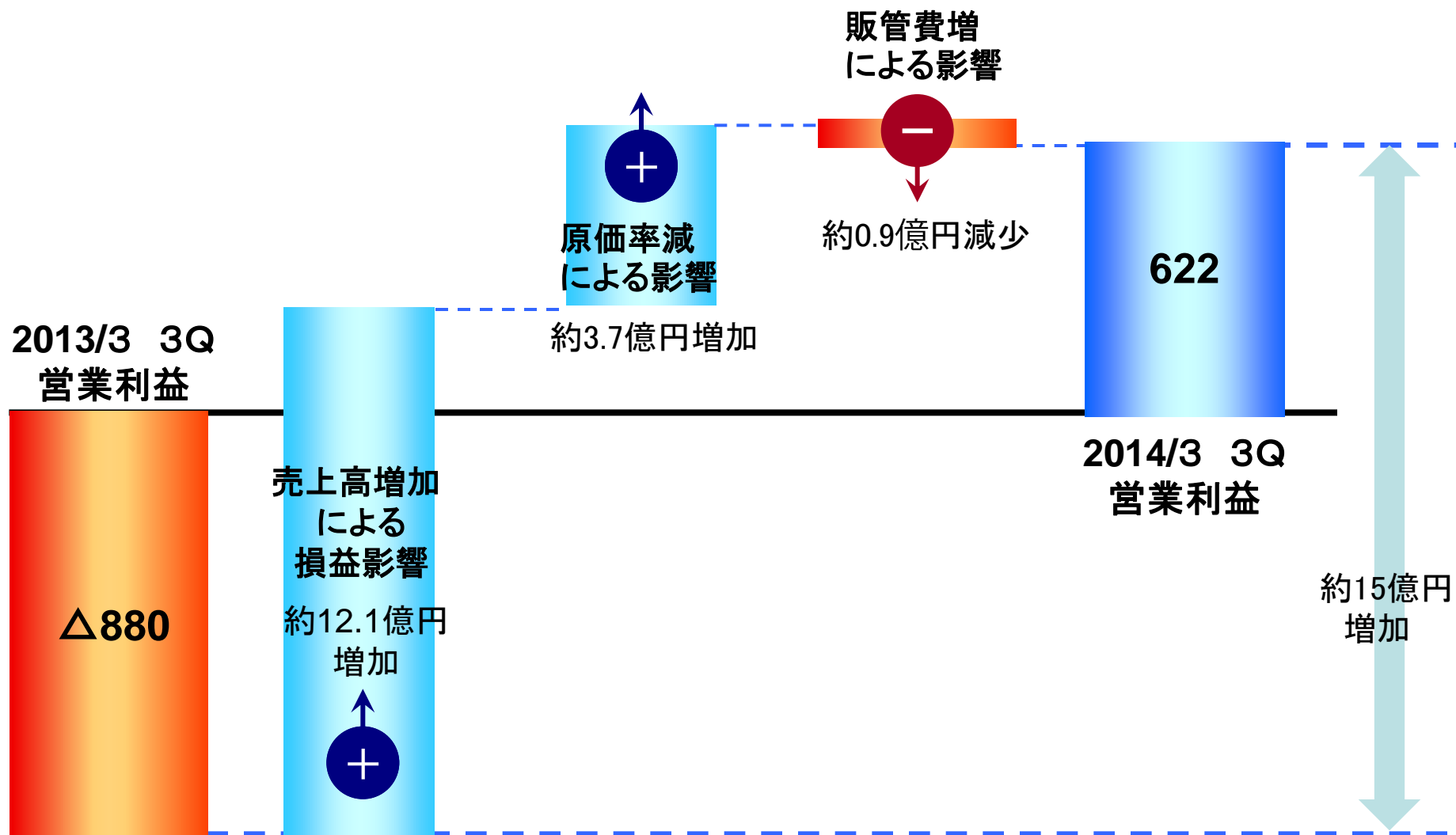
(単位:百万円)

連結決算	2013年3月期 第3四半期	2014年3月期 第3四半期	対前年同期比 増減率
売上高	23,056	32,356	+40.3%
営業利益	△880	622	—
経常利益	△975	600	—
四半期純利益	△772	369	—
受注高	30,467	32,381	+6.3%
受注残高	26,906	20,026	△25.6%



I 決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)



I 決算状況 貸借対照表

■ 貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期 3Q	増減
流動資産	33,622	35,627	+ 2,005
有形固定資産	15,892	15,843	△49
無形固定資産	281	304	+22
投資その他資産	3,836	3,548	△287
流動負債	23,300	24,489	+1,189
固定負債	11,940	12,009	+69
純資産	18,392	18,824	+ 432
総資産	53,632	55,323	+ 1,690
自己資本比率	34.0%	33.7%	△0.3point

主な増減科目

資産

仕掛品	+1,805
現金及び預金	+1,499
受取手形及び売掛金	△1,585

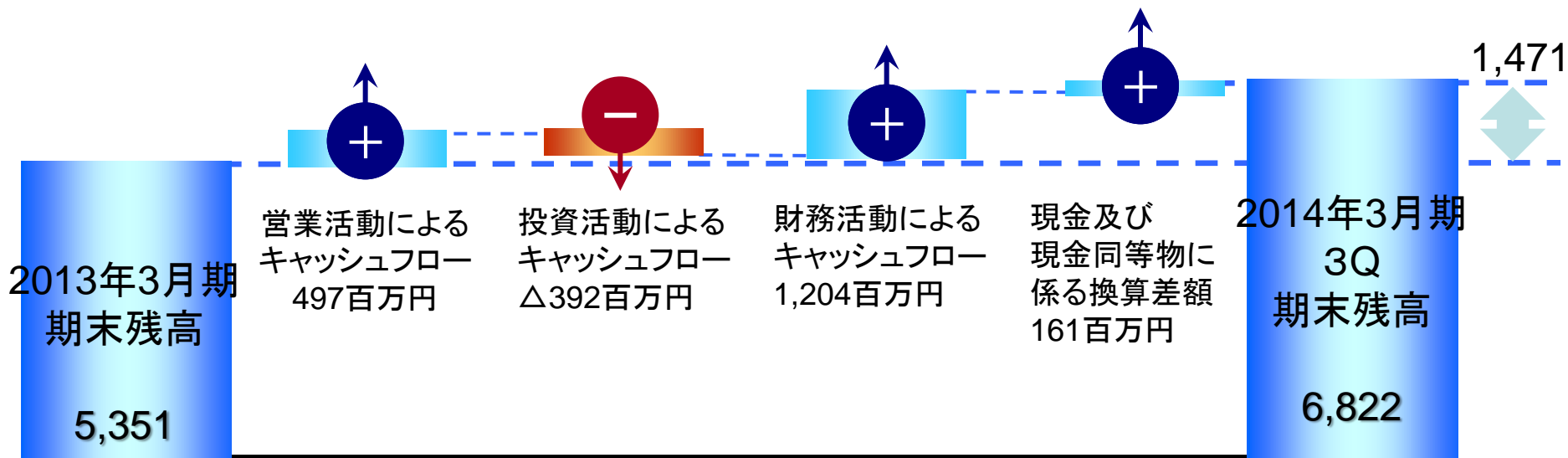
負債・純資産

短期借入金	+1,051
長期借入金	+890
利益剰余金	+238

I 決算状況 キャッシュフロー／想定為替レート

■ キャッシュフロー

(単位:百万円)



■ 想定為替レート

	2012年4月1日～ 2012年12月31日	2013年1月1日～ 2013年3月31日	2013年4月1日～ 2013年11月30日	2013年12月1日～
1US ドル	80円	89円	95円	100円

I 決算状況 事業部門別連結売上高

■ 全事業部門とも増収。特に自動車関連は大幅に増加。

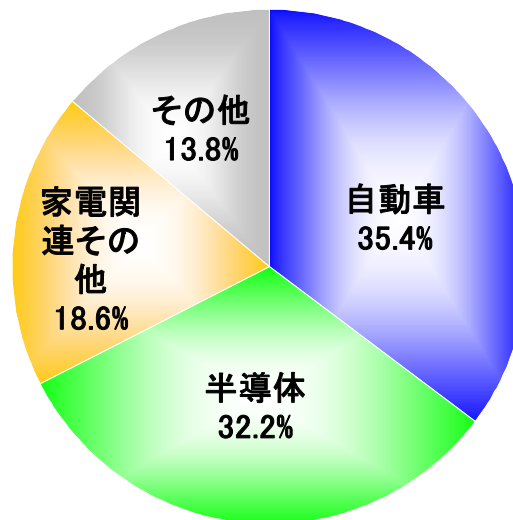
- ・ 自動車関連設備：北米及び中国メーカー向けのエンジン組立ラインなど大型案件の売り上げにより大幅増収(+83.9%)
- ・ 半導体関連設備：大型製造受託案件に加え、北米および国内メーカー向けの売り上げにより増収(+13.8%)
- ・ 家電関連およびその他：家電・住宅メーカー向け、タイヤ関連等の売り上げにより、増収(+14.2%)

事業部門別売上高の状況

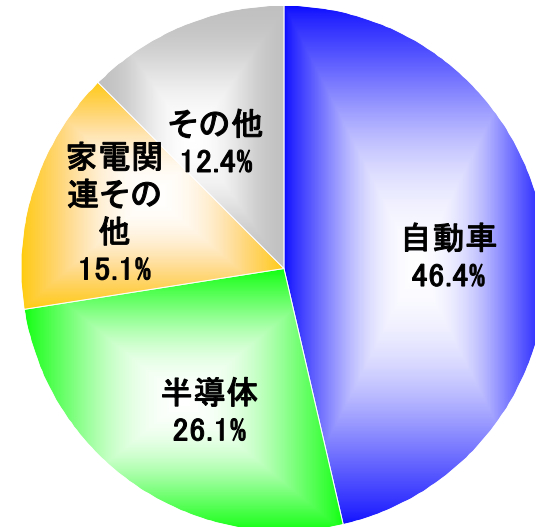
単位：百万円

事業部門	2013/3 3Q	2014/3 3Q	対前年同期比 増減率
自動車	8,159	15,002	+83.9%
半導体	7,428	8,455	+13.8%
家電関連 その他	4,281	4,889	+14.2%
その他	3,186	4,008	+25.8%
合計	23,056	32,356	+40.3%

2013/3 3Q



2014/3 3Q



I 決算状況 事業部門別連結受注高

■ 家電関連が大幅増。半導体関連も増加したが、自動車関連は減少。

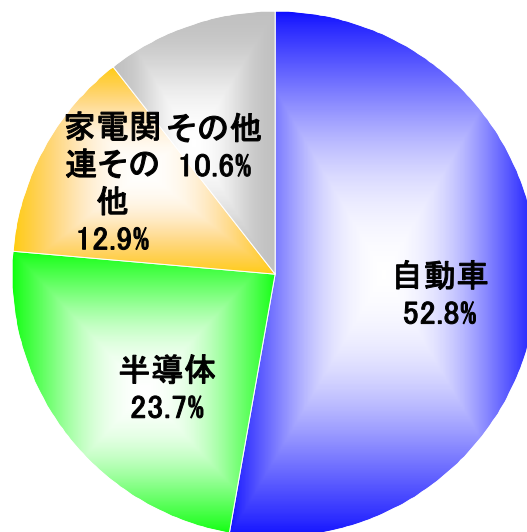
- ・ 自動車関連設備: 北米メーカー等の大型案件の減少により減少(△30.7%)
- ・ 半導体関連設備: 大型製造受託案件は減少したが、北米向け等の受注増により増加(+34.9%)
- ・ 家電関連およびその他: タイヤ関連及び家電メーカー向け等の受注により大幅増(+68.1%)

事業部門別受注高の状況

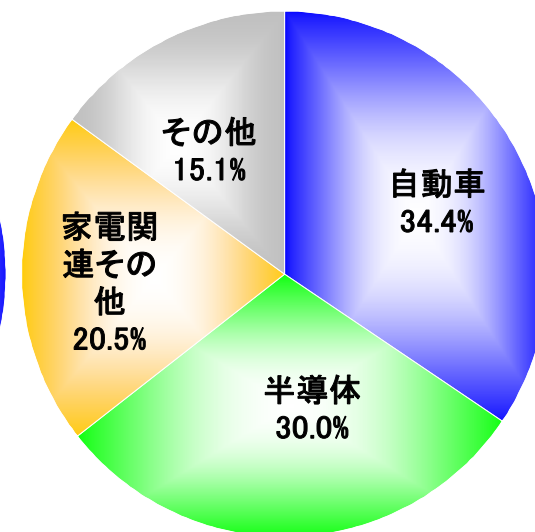
単位:百万円

事業部門	2013/3 3Q	2014/3 3Q	対前年同期比 増減率
自動車	16,075	11,137	△30.7%
半導体	7,214	9,731	+34.9%
家電関連 その他	3,946	6,634	+68.1%
その他	3,231	4,877	+50.9%
合計	30,467	32,381	+6.3%

2013/3 3Q



2014/3 3Q



I 決算状況 事業部門別連結受注残高

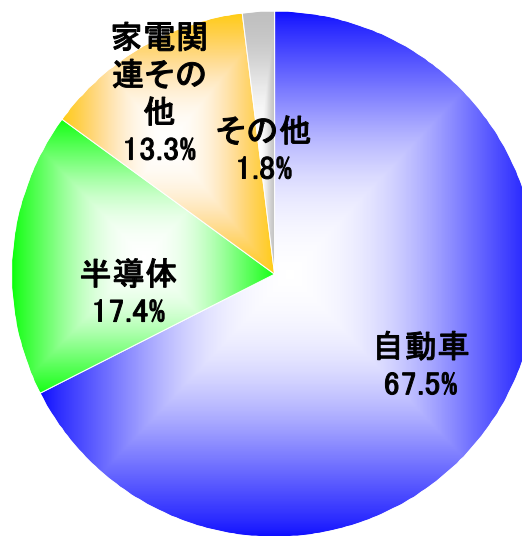
- 家電関連その他の分野は、家電関連、タイヤ、住宅関連等が増加。
自動車関連、半導体関連は大型案件の減少により減少。

事業部門別受注残高の状況

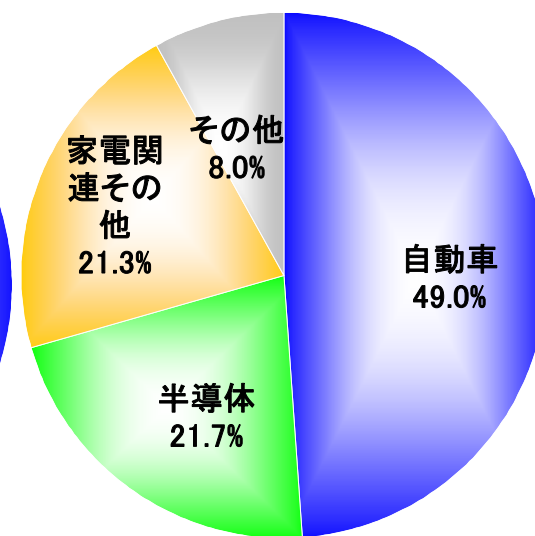
単位：百万円

事業部門	2013/3 3Q	2014/3 3Q	対前年同期比 増減率
自動車	18,161	9,816	△45.9%
半導体	4,684	4,338	△7.4%
家電関連 その他	3,566	4,263	+19.5%
その他	494	1,607	+225.1%
合計	26,906	20,026	△25.6%

2013/3 3Q

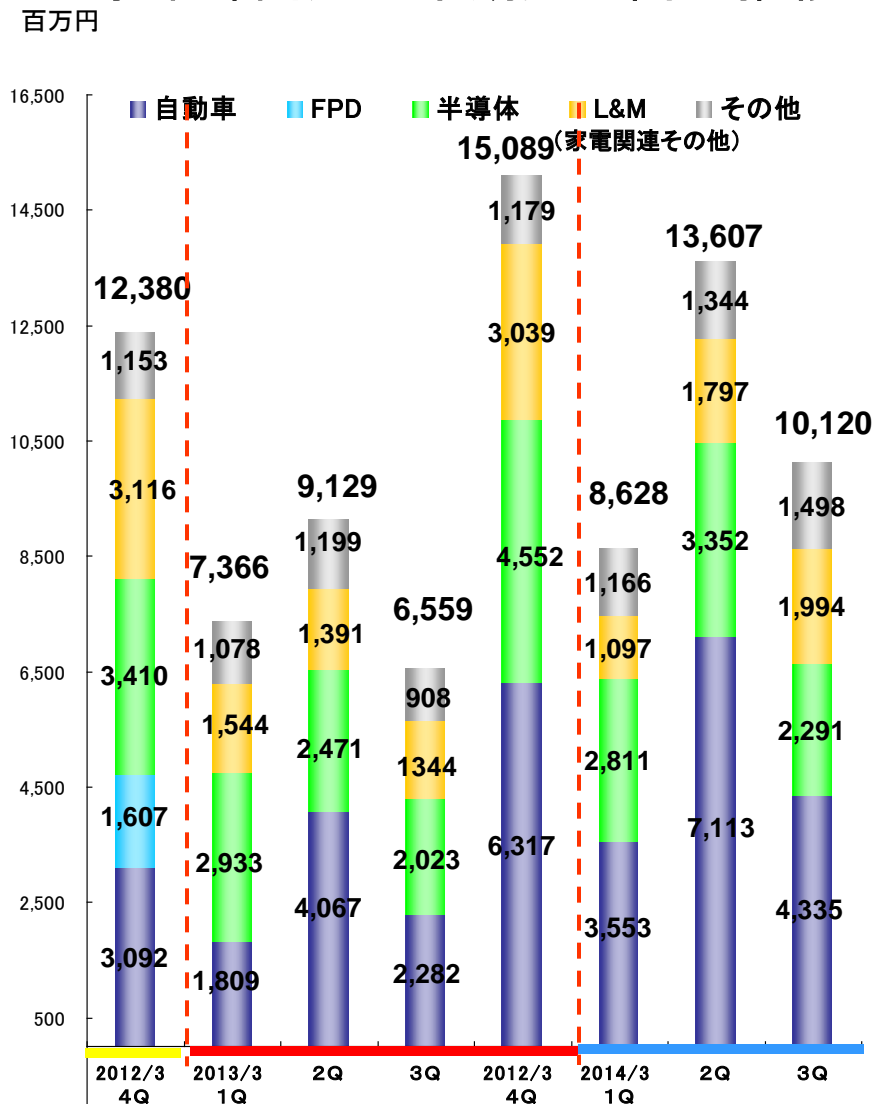


2014/3 3Q

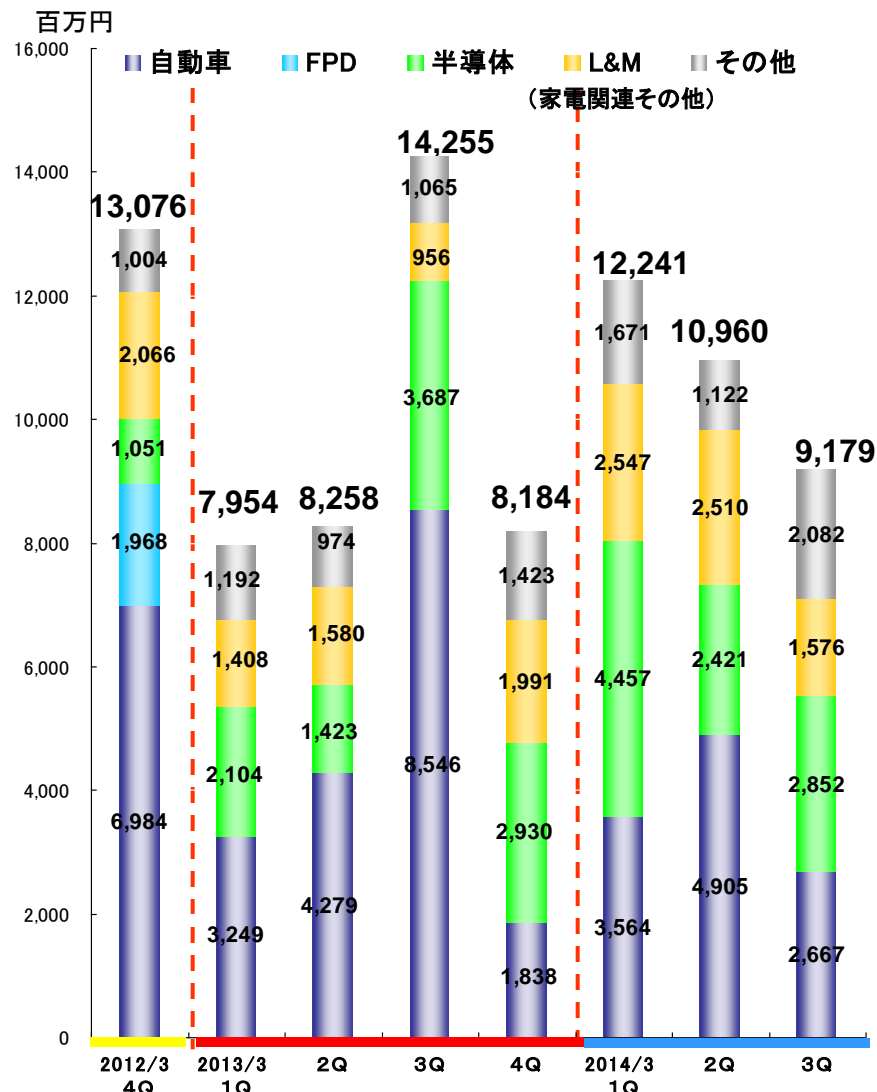


I 決算状況 事業部門別四半期売上高の推移／事業部別四半期受注高の推移

事業部門別四半期売上高の推移



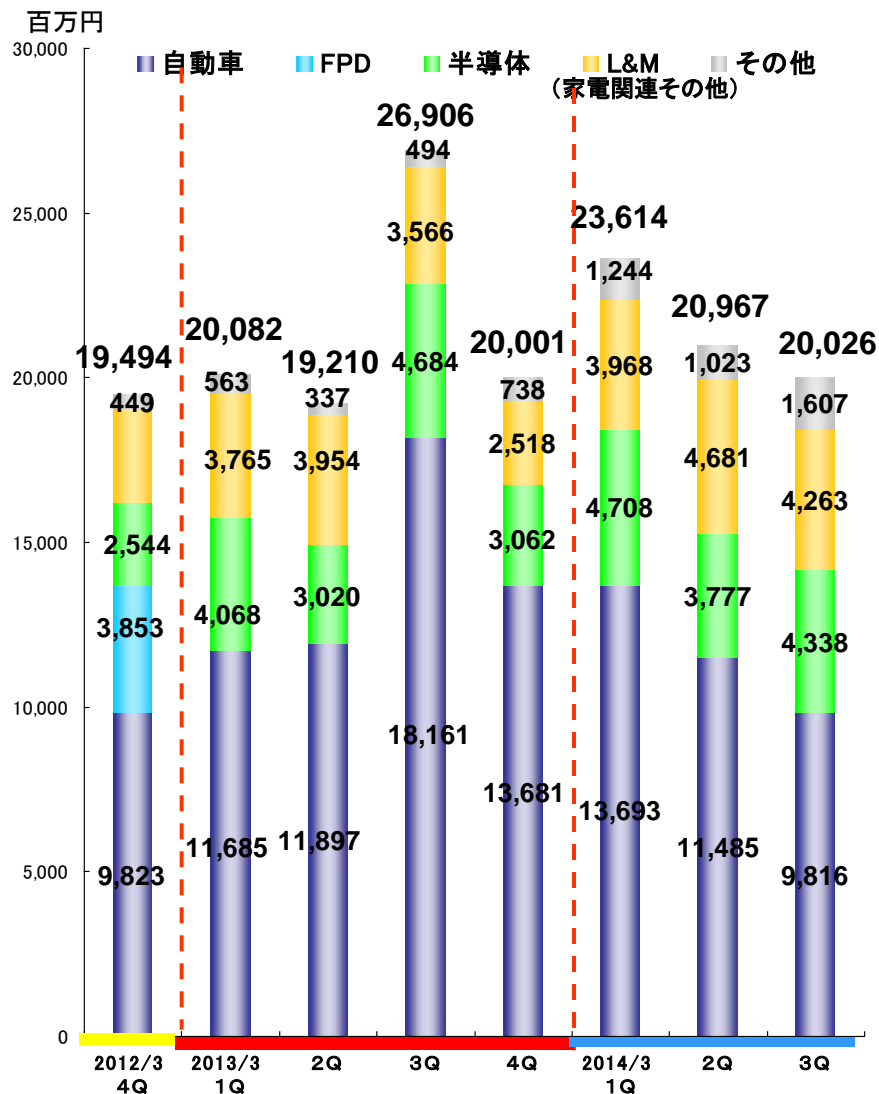
事業部門別四半期受注高の推移



【注】2013年3月期第1四半期より区分を変更し、FPD関連は半導体関連に含めております。また、L&Mは「家電関連その他」に変更しております。

I 決算状況 事業部門別四半期受注残高の推移

事業部門別四半期受注残高の推移



【注】2013年3月期第1四半期より区分を変更し、FPD関連は半導体関連に含めております。また、L&Mは「家電関連その他」に変更しております。

I 決算状況 海外現地法人の状況



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	13/3 3Q	14/3 3Q	13/3 3Q	14/3 3Q	13/3 3Q	14/3 3Q	13/3 3Q	14/3 3Q	13/3 3Q	14/3 3Q
売上高	18,418	27,228	2,809	2,969	1,603	1,815	223	342	23,056	32,356
営業利益	△1,286	85	99	439	383	142	△38	△7	△841	660

当社は2013年11月に東京ビッグサイトで開催された国際ロボット展に出展しました。

「ティーチングレス」を展示コンセプトとして、以下の製品を展示し、好評を得ました。

●直交6軸ロボット

ビジョンシステムによる画像認識機能を持つ6軸（直交3軸と先端3軸）ロボット。部材等の形状をビジョンシステムにて自動認識することにより、ティーチングなしで、面取りやバリ取り等の加工作業を可能とした。当展示会では曲面部材の加工デモを実施。



●スカラロボット AR-F450

高速搬送が可能な水平多関節ロボット。当展示会では標準タイプと壁掛けタイプの2台のロボットが、重なる作業領域内で協調動作を行うデモを実施。



●単軸コントローラ HNC-91

最大3軸を接続して、補間動作が可能なコントローラ。3台をリンクしてアクチュエーターを動かすデモを実施。



Ⅲ 2014年3月期業績の見通し

2014年3月期第3四半期（2013年12月31日）

自動車関連の世界市場は堅調に成長を続ける見込みであり、半導体市場も回復傾向が続く。家電関連もアジアを中心とした新興国市場の拡大は続く見込み。

自動車関連事業

2014年の国内自動車市場は消費税増税により販売台数減少が見込まれる。一方、米国・中国および新興国市場はさらなる拡大が続き、特に新興国においては長期的な成長が続くと予想される。当社の主要顧客である北米自動車メーカーの業績も堅調に推移するものと見込まれる。

半導体関連事業

低価格スマートフォンの普及により一部のメモリ価格は下落しているが、市場全体は回復傾向であり、大手半導体メーカーの設備投資が続いている。半導体装置の販売も回復傾向が続いている。

家電関連およびその他

中国はじめアジアの新興国市場では家電製品の需要は増加を続けており、国内においても低調だったテレビの販売がやや回復傾向にある。また、タイヤについては国内市場は消費税増税による自動車の販売鈍化の見込みに伴い、鈍化が見込まれる。

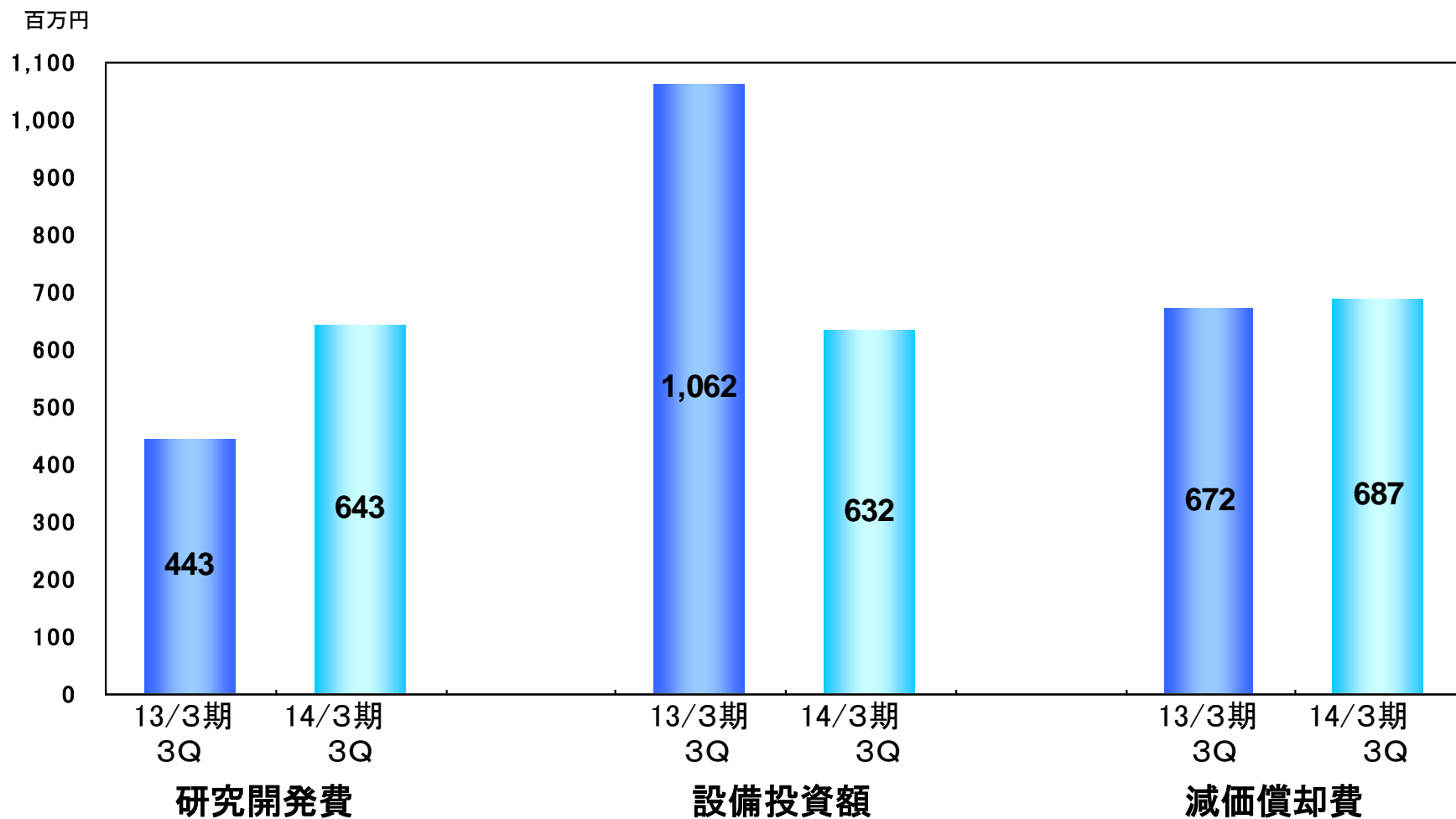
※通期業績予想に変更はありません。

(単位:百万円)

	上期	下期	通期
売上高	22,236	25,763	48,000
自動車関連	10,667	11,332	22,000
半導体関連	6,164	5,835	12,000
家電関連およびその他	2,894	5,105	8,000
その他	2,510	3,489	6,000
営業利益(率)	833 (3.7%)	566 (2.2%)	1,400 (2.9%)
経常利益(率)	776 (3.5%)	523 (2.0%)	1,300 (2.7%)
当期純利益(率)	502 (2.3%)	497 (1.9%)	1,000 (2.1%)

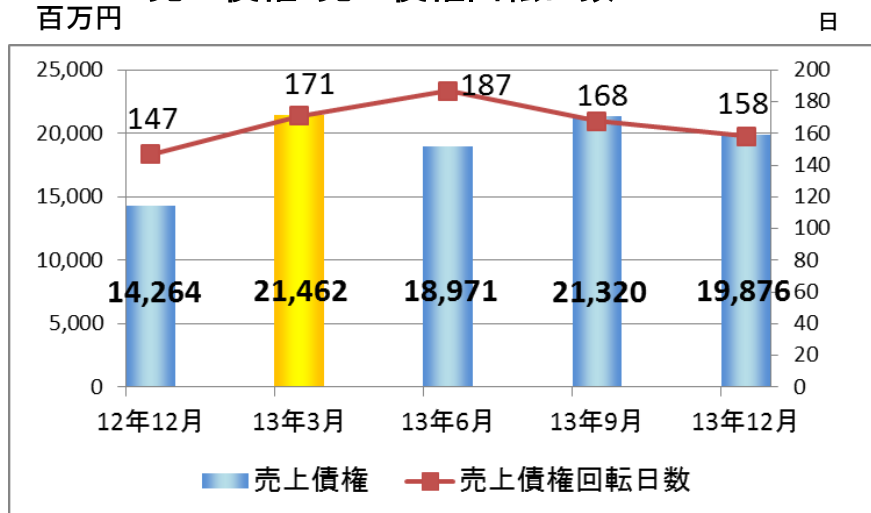
IV 参考資料

2014年3月期第3四半期（2013年12月31日）

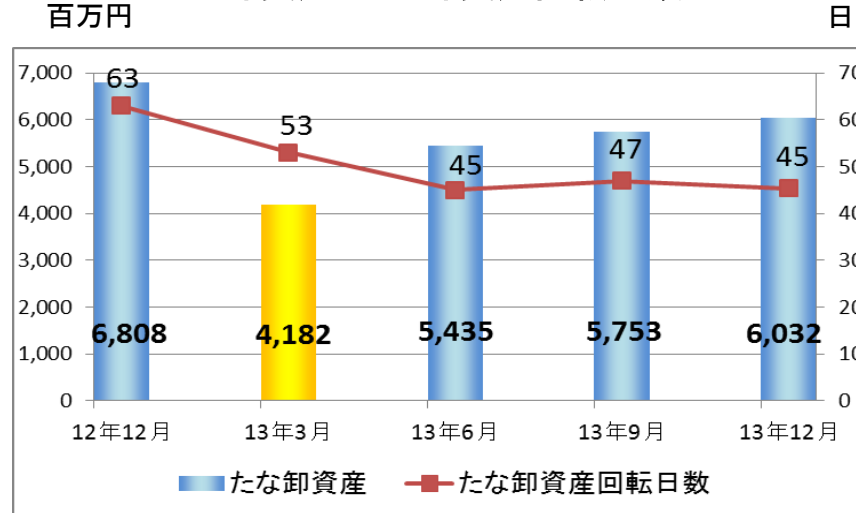


IV 参考資料 主要指標

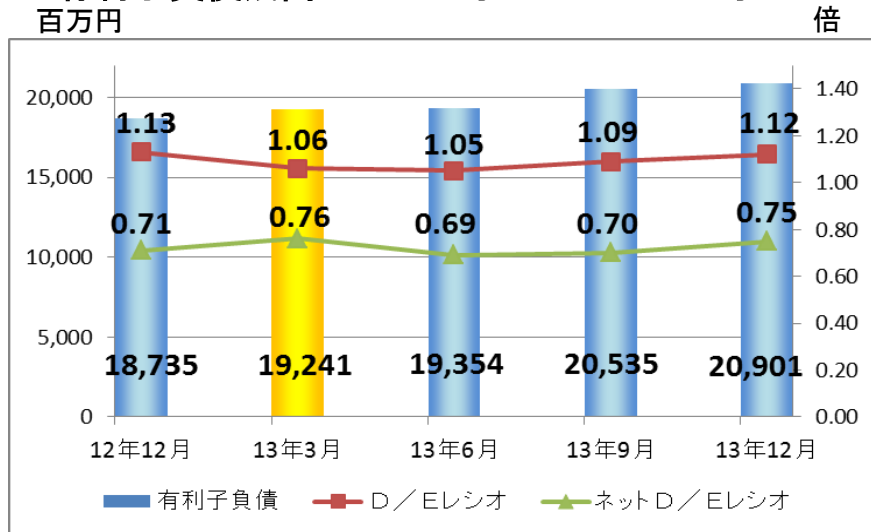
売上債権・売上債権回転日数



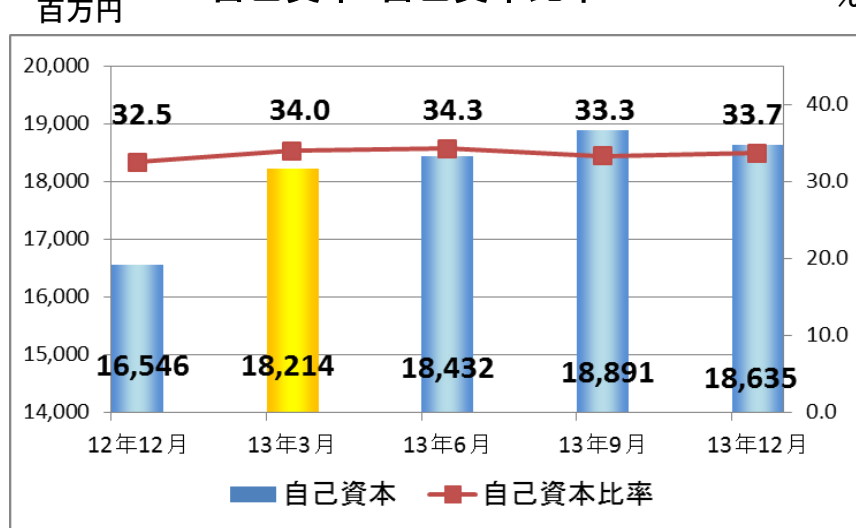
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。